

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2021 は 2021 年度まで納入済み。

しのばず自然観察会より 2021-4 2021.04.03

東京都における新型コロナウイルスの新規感染者数一日当たり 300 名前後が続いています。首都圏 1 都 3 県の緊急事態宣言は解除されましたが、なお一層の感染防止対策をして参加してください。ウイルスの感染拡大等により緊急に中止する場合は会からの葉書やホームページで連絡します。

2021 年 4 月の活動 不忍池定点観察

集 合：2021年4月25日（日）午前10時 不忍池蓮池南西端
（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り） 今回は雨天中止
今回は新型コロナウイルス感染状況によっては中止の可能性があります。
しのばず自然観察会のホームページでも確認してください。
持ち物：筆記用具、双眼鏡、雨具 飲み物、マスク、敷物 （必要な方は昼食）
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚



3月24日、緊急事態宣言の解除直後の不忍池の人出は、花見のせいか平日でも多くなっていました。枯蓮の刈り取りが終わった蓮池では、オカヨシガモが目立つようになりました。そのうちの1羽とバンが岸に上がって餌探しをしていました。これだけの人出なのに、花に気を取られてか、鳥に気づく人は筆者だけ。人も鳥も、お互いに不干渉で共存しているようでした。4月1日、早くも子連れカイツブリ出現。コガモ、ゴイサギも。

赤塚公園のヤマブキソウ観察について

昨年に続いて板橋在住の栗林会員より、都立赤塚公園大門地区のヤマブキソウ観察のお誘いがありました。見ごろは4月半ば過ぎとのこと。新型コロナウイルスの感染者数が緊急事態宣言解除後も増加していることから、しのばず自然観察会の行事としては今年も見送り、個人的に有志が見に行くことにしました。来春こそは皆で！

5月の活動予定 5月23日（日）不忍池定点観察

例年行ってきた6月の公開観察会は昨年、今年と中止し、会員プラスアルファでじっくり不忍池の自然を観察することになります。

2021年3月の活動 不忍池定点観察 より

28日は昼から雨の天気予報で花見客も少な目。9名が参加しました。はじめに連絡事項や予定の相談をして、会員動向の紹介も。杖をついての参加が続いた佐久間静子会員から退会の連絡とお菓子、手づくりの袋類が多数届き、参加者でシェアしました。

集合地点近くの蓮池で、オカヨシガモが9羽、枯蓮刈りでできた広い水面と残った枯蓮の間を生き来していました。そのうちの1羽は、岸近くの杭の上で羽繕いをしていました。前週に同じ場所で同じ行動をしていた個体がありましたので、同一個体かも知れません。腰のあたりに見える白い紋が印象的でした。



羽繕いをするオカヨシガモのオス

確認した野鳥：オカヨシガモ、オナガモ、ハシビロガモ、カルガモ、キンクロハジロ、スズメ、ドバト、カワウ、オオバン、ウミネコ、ユリカモメ、ダイサギ、アオサギ

前週いたホシハジロ、ゴイサギは、居場所まで行けなかったため未確認。

曇り空でしたが、ボートは多数こぎ出していました。その間を縫うようにして、ウミネコやユリカモメ、キンクロハジロ、オオバンが泳いでいました。

ボート池畔の背の低いハンノキは大方の雄花が咲き終わり、花穂が地面に落ちていました。

ここで予想より早めに雨が降り出し、雨脚も弱まらず、11時半に観察会も流れ解散となりました。



4月1日のコガモ メス、オス

☆しのばず自然観察会は1975年発足以来46年目を迎えました。これまで「上野しのばず学習会」でしのばず自然観察会のあゆみと、メインフィールドである上野公園・不忍池の自然と歴史を市民の目から学んできました。その成果をしのばず自然観察会創立50周年を目指して記念誌としてまとめたいと、活動参加者の間で話し合ってきました。会員の皆さんには、試案（私案）をお届けしますので、ご意見、ご助言等をお寄せください。（小川 潔）

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2020年以前の会費未納の方も忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ。